

# おいでなつて

*Oidenatte*

2019

7月号

 **放送大学**

山梨学習センター

〒400-0016 山梨県甲府市武田4-4-37

T E L : 055-251-2238

F A X : 055-251-2193

E-mail:yamanashi-sc@ouj.ac.jp

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamanashi/>



目次	入学者の集い	2
	名誉学生寄稿	4
	単位認定試験	5
	次学期の準備	7
	事務室からのお知らせ	8
	公開講座	9
	所長・客員教員推薦図書	10
	スケジュール	12

通巻73号 2019年7月発行 おいでなつて7月号

文部科学省認可通信教育

# 入 学 者 の 集 い

式 辞

放送大学山梨学習センター所長 平山公明

本日ここにおいでの皆様、ご入学おめでとうございます。皆様を本センターにお迎えできて大変嬉しく思います。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、放送大学と山梨学習センターについて、少しお話しします。

放送大学は、社会人に生涯学習と大学進学を提供すること、などを目的として昭和58年(1983)に通信制の大学として設置されました。昭和60年(1985)に東京都といくつかの関東の県に学習センターを開設し学生の受け入れが、始まりました。そして、山梨学習センターは昭和63年8月に、甲府地区学習センターとして開所しました。昨年12月には、来生学長をお迎えして、開所30周年の記念式典をおこなったところです。現在は31周目の第3コーナーから第4コーナーに入りつつあるところです。これからも、山梨の生涯教育を支え、地域の高等教育と文化の発展に寄与するセンターとして、皆様とともに歩んでいきたいと考えています。このことは、このセンターに所属する皆様が、それぞれのペースで、しっかり学習を積み重ねることを期待することでもあります。

さて、先ほど「ご入学おめでとう」と申しあげました。確かに、「入学」と「お祝い」は密接につながっています。これから社会人を目指す、高校や一般大学への入学ですと、多くの場合入学試験があり、それを乗り越えて、目指すものに近づいたという意味で祝うことは、ごく自然です。小学校や中学校の入学は、入学試験は受けない場合が多いでしょうが、入学できるまで成長した、という成長の節目にあたることで、入学を祝い、「おめでとう」という言葉が湧いてくるのでしょ

う。さて、放送大学の入学で「おめでとう」という言葉を投げかける意味は何なのか、考えてみました。皆さんの多くはすでに社会人です。放送大学の入学は入学試験を突破してきたわけでもなく、成長過程の何かの節目にあたるわけでもありません。私は、放送大学での入学は、学びのスタートラインにたどり着いたことを祝うのだと思います。学ぼうと決断すればいつでも、放送大学には入学できるわけですが、学ぼうと決断することは、そうたやすい事ではないように思います。入学の動機はさまざまでしょう。資格取得のため、好きなことを学びたい、誘われてなんとなく入学、などもあげることができるかもしれません。もちろん、学位取得、すなわち卒業のために入学される方もたくさんいらっしゃいます。共通するのは、ご自分の持ち時間のいくらかを、学習に使おうと決断された、ということです。気高い決断だと思います。そう決断されたことをお祝いしたいです。

ある卒業生が卒業にあたって述べた文章にこういうのがあります。放送大学に入学した時、「今から大学で勉強したって何になるの?」と質問を受けたそうです。はっきりした答えは思いつかないので、最初は、「趣味の一つが勉強する事です」と答えていたそうです。学習を重ねるにつれて、「名前でもない、職業でもない、「自分」を探すためかな。」と思うようになった、そのため卒業後再入学します、と綴っています。名前でもない、職業でもない、「自分」というものに思いが至るとはすごいと思いませんか。

来生学長は三月の学位授与式の式辞で生涯学習に触れて、「生涯にわたって学習を続けるという生き方は、自らの内にある、未知や無知に対する鋭い自覚を保ち、その克服によって進歩するよろこびを持ち続ける強靱な生き方である」と述べています。自分の未知や無知に気づき、それを克服することにより進歩する、そのことを喜びと感ずることができたら、素晴らしいと思いませんか?

今日皆さんは、名前でもない、職業でもない、「自分」を見つける、あるいは、未知や無知を克服し進歩する喜びを求め、そういうスタートラインに立っています。ゆっくりでもいいですから、歩み続けることを期待いたします。学習センターの教職員一同が応援いたします。

本日はご入学、おめでとうございます。



4月7日(日)山梨学習センター講義室2において「2019年度第1学期入学者の集い」が開催されました。山梨学習センター所属の入学者は教養学部179名、大学院13名です。

平山所長の式辞、入学生代表野田さんの挨拶に続き、ご来賓としてご出席いただいた、山梨学習センター同窓会長網倉様と本年3月名誉学生\*となられた平賀様よりご祝辞を頂きました。

今後の学生生活が有意義なものとなりますよう職員一同お祈り申し上げます。

\***名誉学生**：教養学部のすべてのコース(又は専攻)を卒業された方に授与される称号

## 入学生代表のことば

入学生代表 野田美和

教養学部教養学科 生活と福祉コース



南に富士山、北に八ヶ岳を構え春の美しい風景に囲まれたこの甲府盆地で、めでたく大学生になれたことをうれしく感じております。そして、本日お忙しいなか放送大学関係者のみなさま、『入学者の集い』を開催して頂いたことを誠に感謝しております。

私事ではありますが、看護専門学校を卒業してから、昨年まで23年間看護師として実践を行ってきました。看護の仕事から離れて一年間、かねてから興味があった研修や講義を受講し改めて大人になって学ぶことの楽しさに気付きました。

働きながら学べる大学を探し、山梨県内で通学でき多才な講師陣が揃った放送大学に入学することを決めました。私は、『昭和』から『平成』に変わった時に高校生でした。それから30年が経過し、新たな令和という変革の時代に突入した記念すべき年に大学生となりました。

これから新しい一步を踏み出すと同時に、新たな仲間とともに学び成長し続ける喜びを分かち合い、日々の努力を積み重ねていきたいと思っております。

ご指導を頂く諸先生方や関係職員の皆様、並びに諸先輩方には、何かとお世話になると思いますが、よろしく願い致します。

入学生代表として、僭越ながら一言とさせていただきます。

# 名 誉 学 生 寄 稿

学生生活を振り返って

放送大学名誉学生 平賀昭子



平成13年10月に全科履修生として山梨学習センターに入学し20年3月に「人間の探究」コースを卒業、31年3月までに他の教養学部の全5コースを修了しました。

平成最後の3月23日の卒業式では「放送大学名誉学生」の称号をいただきました。

振り返るとあっと言う間の18年間でしたが、放送大学に入学したことにより毎日が充実した日々を送ることができました。何よりも一緒に学んだ学友との交流はかけがいのない宝物となりました。また、家族の協力なしでは18年間も学びとおすことができなかつたと思います。

放送大学の受講の中で特に印象に残っている科目について2,3お話しします。

古い話ですが平成18年7月から10月まで「地球一周の船旅」に学友と出掛けました。8月にケニアから乗船の放送大学助教授（当時）の高橋和夫先生にはイスラエルやパレスチナ自治区等中東問題について講義していただきました。

同じく10月の太平洋上では元天文学者（故）海部宣男先生の「広がる宇宙～太陽系からビックベンまで」の話をしていただきました。18年当時は全科履修生半ばで勉学中でしたが、船旅で受けた講義を機会に一層勉学の意欲が増し、今まで勉強が続けられてきた一因ではないかと思っています。

最近では科目の一つで高橋和夫先生の「世界の中の日本」を受講しましたが、その中でイスラム教のお墓について話をしていました。場所は何と山梨県甲州市にありました。それは「文殊院」で山梨学習センターのサークル活動の一つとして見学しました。これも放送大学に入っていたから体験できたのではないかと考えています。

また海部先生の関連では昨年面接授業で「宇宙－星・惑星・生命の誕生」（講師は長谷川哲夫先生）を受けました。チリのアルマ望遠鏡等興味のある授業でした。これも海部先生の講座を受けたおかげで宇宙に関心を持つことができました。

山梨学習センターの皆様にはインターネットでの科目登録等、親切に教えていただき感謝しています。放送大学の学習方法はまず興味のあるものから取っていきまされたので、身につけているのかわかりませんが、印刷教材やビデオを何回も学習することで楽しく過ごすことができました。また面接授業も先生の授業を直接聞くことができ、大切な時間を共有できるものでした。長野学習センター他浜松、東京（文京、渋谷）、埼玉に出かけましたが、それも現地に出かける一種の緊張感もあり新鮮な気持ちで受けることができました。

中でも長野学習センターでは、現地に着いたとたん、急激な腹痛に襲われ授業は受けられませんでした。センター長様、スタッフの皆様大変お世話になり無事帰宅することができました。

現在の日本や世界では自然の災害や、社会情勢は目まぐるしく変化しています。放送大学で学んだことは必ずや何処かで生かしていかなければと今回改めて認識しました。これで勉強は終わりではなく今後も興味のある授業は受けたいと思っています。また、学友との交流も大切に参加したいと思っています。

山梨学習センターの皆様や大勢の方々に支えられてここまで来ました。健康の続く限り生涯学習として焦らずやっけていくつもりです。これからもよろしくご指導をお願い致します。

# 2019年度第1学期単位認定試験

## 【実施期間】

大学院： 2019年7月19日（金）～7月20日（土）

教養学部： 2019年7月21日（日）～7月28日（日）

## 【通信指導添削結果】

- 通信指導の添削結果は、7月上旬頃返送されます。なお、択一式科目については7月8日(月) 記述式科目については7月19日（金）までに届かない場合は、放送大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。  
通信指導の合否結果は、添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知（受験票）」によって通知されます。
- 新規登録科目の通信指導が未提出または添削結果が不合格の場合、次の学期に学籍がある場合に限り（休学中の場合を除く）、科目登録を行わなくても次の学期に再度通信指導を受けることができます。

## 【単位認定試験通知（受験票）】

- 試験日の約1週間前までに「単位認定試験通知（受験票）」が送付されます。
- 通信指導に合格した場合は、当該科目の試験日時、会場が記載されています。
- 単位認定試験の出題形式は、択一式、記述式、両者併用式があり、受験票送付時に「単位認定試験時間割」を同封し、お知らせします。なお、この時間割には各科目の試験の際に持込が認められる「持ち込み許可物品」（印刷教材やノート等）についても記載してありますので必ず確認してください。
- 「単位認定試験通知書（受験票）」とともに『「単位認定試験受験に際しての注意事項」及び「試験問題等の公表」』資料が送付されますので必ずご一読ください。

## 【試験の際に持参するもの】

### 単位認定試験通知（受験票）

「単位認定試験通知（受験票）」が7月12日（金）になっても到着しない場合、あるいは紛失した場合は、放送大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。

### 学生証

顔写真が未登録の方は、出願票に添付された「写真票」または「学生生活の葉」巻末様式12（大学院は様式11）の写真票に所要事項をご記入の上、本部学生課入学・履修係に提出していただくか、システムWAKABAの「学生カルテ」から直接顔写真の登録を行ってください。

有効期限切れ学生証更新の場合は、山梨学習センター窓口にて古い学生証と交換で交付します。全科履修生の学生証有効期限は2年間です。

学生証を紛失した場合は、再発行を受けてください。（手数料500円）試験当日は混み合いますので、試験期間前に手続きを済ませてください。

### 筆記用具

HBの黒鉛筆（シャープペンシルは使用できません）  
消しゴム

### 持ち込みが認められる印刷教材等

学習センター掲示板とシステムWAKABA「キャンパスライフ→学習案内」にて、試験の約1カ月前に公表します。また、受験票送付の際にも併せてお知らせします。

## 【試験時間】

- 試験時間は50分です。
- 試験室には、試験開始時刻の10分前までに入室してください。
- 遅刻は試験開始後20分まで入室を認めます。
- 試験開始から30分経過後、終了5分前までは退室することができます。

試験時間割	
1時限	9:15～10:05
2時限	10:25～11:15
3時限	11:35～12:25
休憩(50分)	
4時限	13:15～14:05
5時限	14:25～15:15
6時限	15:35～16:25
7時限	16:45～17:35
8時限	17:55～18:45

## 【注意事項】

- 時限・科目ごとに座席を指定しています。  
各受験室に科目ごとの座席が表示してありますので、それに従って着席してください。
  - 再試験科目と、新規登録科目の受験日時が重なった場合には、どちらか1科目を選択してください。その場合、選択した科目を前もって届け出る必要はありません。
  - 昼食時や試験の合間は多目的室、1階および2階の学生交流スペースをご利用ください。
  - 不測の事態が生じた場合は、学習センターに必ずご連絡ください。
- ※7月26日(金) および 7月30日(火) は、単位認定試験に伴う閉所日です。

## 【成績】

- 成績の評価は、成績の優れている順に  
①(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、  
D(59～50点)、E(49～0点)の6区分で行い、C以上が合格です。
- 試験結果は、8月下旬に「成績通知書」によって通知します。また、システムWAKABA「教務情報 → 履修成績照会」でも確認できます。

## 【再試験】

- 新規に科目登録した学期に単位が修得できなかった場合、次の学期に学籍がある場合に限り  
(休学中の場合を除く)科目登録を行わなくても再試験を受験できます。(再試験に係る授業料等はありません。)
- 科目登録した学期で在学期間が終了する方は、出願期間中に次の学期の入学出願を行い学籍を継続すれば、再試験を受験できます。この場合の学費は、他に受講希望科目がなければ入学料のみです。
- オンライン授業科目は、通信指導及び単位認定試験を行いませんので再試験はありません。(一部科目を除く。)単位を修得できなかった場合、再度科目登録が必要です。

## 【試験問題・解答の公表】

- 試験問題を持ち帰ることはできません。1学期の試験問題は8月上旬、解答(一部を除く)は8月下旬にシステムWAKABA(「学内リンク」から遷移)に掲載、また、学習センターにて公表予定です。  
なお、学習センターにおいて試験問題、解答のコピーはできません。学習センター備え付けのパソコンから、データをUSBメモリ等にコピーすることや、閲覧用の試験問題をデジカメで撮影することはできます。  
閲覧期間は約1年間です。

### 《夏季集中型科目の単位認定試験》

- 通常の科目とは異なる部分があります。「学生生活の葉」学部:P102～P104をご覧ください。

# 次学期の準備

次学期に履修する科目を登録してください。

継続入学・科目登録申請のため、対象者には大学本部より各要項が届きます。出願および申請の際は、各要項および「学生生活の葉」を必ず参照の上、間違いのないよう手続きをしてください。



## 【科目登録について】

### <次学期に学籍のある方>

- 7月中旬に『科目登録申請要項』が、本部より送られてきます。
- 科目登録申請開始の8日前になっても到着しない場合、あるいは紛失した場合は、放送大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。

申請の種類	申請期間
システムWAKABAによる方法（面接授業含む）	2019年8月15日(木)〈9:00〉～ 8月31日(土)〈24:00〉
科目登録申請票(郵便)による方法（面接授業含む）	2019年8月15日(木)～8月30日(金)〈私書箱必着〉

### <2019年度1学期末で学籍が切れる方>

- 「継続入学用関連書類」が本部より送られてきます。
- 学習センターにある学生募集要項でも申請できます。
- システムWAKABAのメニュー欄「継続入学申請」からも、継続出願ができます。
- 集団入学者または自主退学者に「継続入学用関連書類」は送付されません。

出願方法		出願期間
第1回	システムWAKABA	2019年6月15日(土)〈9:00〉～ 8月31日(土)〈24:00〉
	郵送	2019年6月15日(土) ～ 8月31日(土)〈私書箱必着〉
第2回	システムWAKABA	2019年9月1日(日)〈9:00〉～ 9月20日(金)〈24:00〉
	郵送	2019年9月1日(日) ～ 9月20日(金)〈私書箱必着〉

継続入学し学期当初から面接授業の登録を希望される方は2019年8月15日(木)〈9:00〉～8月31日(土)〈24:00〉にシステムWAKABAから出願してください。出願票を郵送された場合および在学生の科目登録申請期間外に出願された場合、面接授業(学期当初)を登録できません。

### <卒業見込みの方>

- 2019年度第1学期末で卒業見込みの方は、卒業判定の結果に備えて申請することができます。科目登録申請した科目は、卒業とならなかった場合のみ登録決定され、卒業となった場合には無効(卒業を優先し、科目登録は取り消し)となります。  
※授業料の納付については、卒業とならなかった場合にのみ払込票が送付されます。
- 次学期に継続入学して再試験だけを受けたい場合は、「継続入学者用出願票」で、「今回は再試験のためだけの出願である」に○印をしてください（科目登録は空欄のまま）。
- 卒業が決定した方で、引き続き学習する場合には、継続入学の手続きを別途してください。

# 事務室からのお知らせ

## 【山梨学習センター学習奨励賞受賞者】

山梨学習センター学習奨励賞は以下に該当する皆様におくられます。

- 1.複数コース(専攻を含む。)を卒業又はプログラムを修了した者
- 2.科目群履修認証制度により認証状を取得した者 (=エキスパート)
- 3.その他不断の努力により表彰に値すると所長が認めた者

### 【放送大学エキスパートの認証状を取得された方】 (敬称略)

氏名	認証状の名称	認証日
鷹野 友紀	心理学基礎	2019.2.28
原 英 俊	食と健康アドバイザー	2019.2.28
小野 千鶴子	臨床心理学基礎	2019.3.31
清水 愛子	心理学基礎	2019.3.31
矢野 仁美	次世代育成支援・食と健康アドバイザー	2019.3.31
由井 護	自然系博物館活動支援	2019.3.31
酒井 ゆり子	自然系博物館活動支援	2019.4.30

## 【学生証の受け取りをお忘れなく】

単位認定試験受験、図書・視聴学習室の利用等には「学生証」が必要です。

### <新入学生・有効期限切れの方>

学習センター事務室で入学許可証持参もしくは期限切れの学生証と引換に新しい学生証を受け取ってください。全科履修生の有効期限は2年間。

新入学・自動更新の場合、手数料はかかりません。

※大学本部へ写真票を提出していない方は、大学本部へ写真票を郵送するか、システムWAKABAより写真の登録を行ってください。(発行までに約3週間かかります。)

### <再発行>

「学生証再発行願」に必要事項を記入の上、手数料(500円)を添えて学習センター事務室で手続きを行ってください。

詳細は、『学生生活の栞』学部:P20/大学院:P26をご覧ください。

### <顔写真の更新>

システムWAKABAに顔写真が登録済みで、次学期も学籍があり、学生証の有効期限が2か月以内に切れる方は顔写真を更新登録できます。詳細は『学生生活の栞』学部:P18/大学院:P24をご覧ください。

単位認定試験では学生証の顔写真と受験者を確認します。



## 【駐車場】

山梨学習センターに駐車場はありません。甲府駅から学習センターまで徒歩約20分です。バス利用の場合は、山梨交通甲府駅北口2番乗り場から「武田神社行」、または「積翠寺行」に乗車し、「山梨大学」で下車してください。

山梨大学の駐車場を借りる方は「山梨大学総合案内所」に申し出てください。200円/回

## 【学生募集】

2019年度第2学期、教養学部および大学院の学生を募集しています。（2019年9月20日私書箱必着）

卒業・在学期間満了となる方には継続入学をお勧めします。

お知り合いに放送大学にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

## 【臨時閉所日】

8月13日～15日を臨時閉所日とします。11日(日)山の日～15日(木)まで5連休となり、学生のみなさまにご不便をおかけしますがご了承ください。

## 公開講座

講師	テーマ	講義概要
	日時・場所	
※ 客員准教授  島 弘幸  山梨大学准教授	身近にあふれるフシギな科学  2019年 7 月 6 日 (土)  13:30 ~ 15:00  韮崎市立大村記念図書館	なぜ昼間の空は青いのに、夕焼けの空は赤いのでしょうか？なぜ80°Cのサウナは平気で入れるのに、80°Cのお湯だとヤケドするのでしょうか？・・・私たちの身の回りを見渡すと、そこにはたくさんの疑問と不思議があふれています。この公開講座では、普段の生活で目にする日用品や自然現象を例にして、それらの科学的な仕組みをやさしく説明します。難しい数式や理論は一切使いません。飾らない「普段使い」の言葉を通して、科学の魅力を皆さんにお伝えできればと考えています。
客員教授  古家 貴雄  山梨大学教授	英語のリスニング技能について考える  2019年 8 月 17 日 (土)  10:30 ~ 12:00  山梨県立図書館	英語の4技能の中でリスニングはどちらかというと難しい技能だと考えられています。つまり、習得が難しい技能であるということです。しかし、英語のコミュニケーションという場合、話すと聞くはその両輪なので、大切な技能です。当日は、まず、リスニング技能の基本的なメカニズムについてお話しします。その上で、日本人にとってなぜリスニングが難しいかを解説し、その後、難しい理由に対応した克服方法や訓練方法を提案します。最後に、ちょっと演習も入れて、意味のある話にしたいと考えています。

※は、韮崎市立大村記念図書館および山梨大学との共催です。  
お知り合いにもお声がけください。事前申込み不要

# 所長・客員教員 推薦図書

書名	請求記号	出版社
心理学実験法・レポートの書き方	140.7/Sh69/1	ナカニシヤ出版
ジェンダーとセックス：精神療法とカウンセリングの現場から	146.8/O32	弘文堂
カウンセリングと心理療法：実践のための新しい概念 ロジャーズ主要著作集 1	146/R62/1	岩崎学術出版社
武田氏滅亡	289.1/H69	KADOKAWA
政と官の五十年	312.1/Mu48	第一法規
よくわかる行政学 第2版	317.1/Y79	ミネルヴァ書房
経済効果入門：地域活性化・企画立案・政策評価のツール	331.1/Ke29	日本評論社
空間経済学：都市・地域・国際貿易の新しい分析	332.9/Ku27	東洋経済新報社
国家はなぜ衰退するのか：権力・繁栄・貧困の起源 上	332/Ko43/1	早川書房
国家はなぜ衰退するのか：権力・繁栄・貧困の起源 下	332/Ko43/2	早川書房
芸術文化の投資効果：メセナと創造経済	335.1/Ka86	水曜社
消費者市民社会の構築と消費者教育	365/Sh95	晃洋書房
固体=結晶の世界：ミョウバンからゼオライトまで	459.9/Ko91	仮説社
楽しい鉱物図鑑 [1]：新装版	459/H87/1	草思社
追跡!辺境微生物：砂漠・温泉から北極・南極まで	465/N34	築地書館
超高齢社会に挑む骨格筋のメディカルサイエンス：筋疾患から代謝・全身性制御へと広がる筋研究を、健康寿命の延伸につなげる	491.3/C53	羊土社
もっとよくわかる!脳神経科学：やっぱり脳はスゴイのだ!	491.3/Ku17	羊土社
総力戦で挑む老化・寿命研究：Productive Agingを目指した基礎研究と社会実装	491.3/So59	羊土社
ものづくり技術からみる再生医療：細胞研究・創薬・治療 普及版	492.8/Mo35	シーエムシー出版
家族看護学：理論と実践 第4版	492.9/Ka99	日本看護協会出版会
異所性脂肪：メタボリックシンドロームの新常識 第2版	493.1/I84	日本医事新報社
認知症高齢者の世界	493.7/N76	日本看護協会出版会
臨床検査技師の一日	498.1/R45	保育社
スタンフォード式最高の睡眠	498.3/N85	サンマーク出版

書名	請求記号	出版社
ゆるスクワットの教科書：今ある不調をなくす	498.3/Y99	主婦の友社
ゆるスクワットの教科書：写真でわかる決定版!	498.3/Y99	主婦の友社
健康格差社会への処方箋	498/Ko73	医学書院
浄水膜 第2版	518.1/J79	技報堂出版
水道のあらまし 第6版	518.1/Su51	日本水道協会
知識社会と都市の発展	518.8/C48	森北出版
環境と資源の経済学	519/Ka56	勁草書房
ワインの世界地図：8000年の史実から識る56カ 国92地域のワイン産地の歴史と今	588.5/G27	パイインターナショナル
新ワイン学	588.5/Sh69	ガイアブックス
野菜のおかず 秋から冬 別冊うかたま 伝え継ぐ 日本の家庭料理10	596.2/Ts92/10	農山漁村文化協会
小麦・いも・豆のおやつ 別冊うかたま 伝え継ぐ 日本の家庭料理13	596.2/Ts92/13	農山漁村文化協会
魚のおかず いわし・さばなど 別冊うかたま 伝 え継ぐ日本の家庭料理6	596.2/Ts92/6	農山漁村文化協会
肉・豆腐・麩のおかず 別冊うかたま 伝え継ぐ日 本の家庭料理8	596.2/Ts92/8	農山漁村文化協会
食を支えるキッチングッズ：調理用具、電気・ガ ス機器とつき合う	596.9/H55	建帛社
教養としての身体運動・健康科学	780.1/Ky7	東京大学出版会
入門運動生理学 第4版	780.1/N99	杏林書院
日本語と日本語論	810.1/I33	筑摩書房
広辞苑 第7版, 机上版 [2冊セット] あ-そ	813.1/Ko39	岩波書店
広辞苑 第7版, 机上版 [2冊セット] た-ん	813.1/Ko39	岩波書店
広辞苑 第7版, 机上版 [2冊セット] 付録	813.1/Ko39	岩波書店
グローバルコミュニケーションのための英語学概 論	830.1/I55	慶應義塾大学出版会
英語の感覚・日本語の感覚：「ことばの意味」の しくみ	830.4/I33	NHK出版
洋楽を歌おう!：英語の音声変化が学べる	831.1/A14	秀和システム
英語で聞く力。：81のサンプル・リスニングで鍛 える! CD3枚付き	831.1/E37	三修社
英語日記パーフェクト表現辞典	836.6/I74	学研教育出版

本表は、所長及び客員教員からの推薦に基づき配架した図書の一覧です。

山梨学習センター視聴学習・図書室にて閲覧することができます。どうぞご利用ください。

# 2019年7月～9月 スケジュール

7 月			8 月			9 月		
1	月	閉所日	1	木		1	日	
2	火		2	金		2	月	閉所日
3	水		3	土		3	火	
4	木		4	日		4	水	
5	金		5	月	閉所日	5	木	
6	土	面接授業	6	火		6	金	
7	日	面接授業	7	水		7	土	臨時閉所日（停電）
8	月	閉所日	8	木		8	日	
9	火		9	金		9	月	閉所日
10	水		10	土		10	火	
11	木		11	日	閉所日（山の日）	11	水	
12	金		12	月	閉所日	12	木	
13	土		13	火	臨時閉所日	13	金	
14	日		14	水	臨時閉所日	14	土	
15	月	閉所日（海の日）	15	木	臨時閉所日 次学期科目登録開始	15	日	
16	火		16	金		16	月	閉所日（敬老の日）
17	水		17	土		17	火	
18	木		18	日		18	水	
19	金	単位認定試験(大学院)	19	月	閉所日	19	木	
20	土	単位認定試験(大学院)	20	火		20	金	2学期出願第2回締切
21	日	単位認定試験(学部)	21	水		21	土	
22	月	閉所日	22	木		22	日	
23	火	単位認定試験(学部)	23	金		23	月	閉所日（秋分の日）
24	水	単位認定試験(学部)	24	土	教員免許更新講習 修了認定試験	24	火	
25	木	単位認定試験(学部)	25	日	教員免許更新講習 修了認定試験	25	水	
26	金	臨時閉所日	26	月	閉所日	26	木	
27	土	単位認定試験(学部)	27	火		27	金	単位認定試験(看護)
28	日	単位認定試験(学部)	28	水		28	土	単位認定試験(看護)
29	月	閉所日	29	木		29	日	学位記授与式 入学者の集い
30	火	臨時閉所日	30	金	次学期科目登録締切 (郵送)私書箱必着	30	月	閉所日
31	水		31	土	同上(Web)24:00まで 2学期出願第1回締切			